

令和6年第14回津市教育委員会会議録

日時：令和6年12月19日（木）

午後2時30分開会

場所：教育委員会室

出席委員	委	員	西	口	晶	子
	委	員	富	田	昌	平
	委	員	田	村		学
	委	員	山	口	友	美

出席者	教育長	森	昌	彦
	教育総務部長	家	城	寛
	学校教育部長	伊	藤	雅子
	教育総務部次長	長	脇	弘幸
	教育総務部教育総務担当参事（兼）			
	教育総務課長	鎌	田	健一
	教育総務部生涯学習担当参事（兼）			
	教育施設課長	水	谷	隆彦

教育長 それでは本日の議案の概要説明をお願いします。

教育総務部長 本日は、議案第45号 令和6年度津市一般会計補正予算（第8号）＜教委所管分＞について、議案第46号 津市通学区域審議会委員の委嘱についての2件の議案について、御審議をお願いします。次に報告事項として(1)第2回白山地域小学校の在り方検討委員会代表者会議の開催結果についての1件でございます。詳しい内容につきましては、それぞれの担当課長等から説明いたしますので、よろしくお願いします。

教育長 本日の議案は、お手元の事項書のとおり、議案第45号、議案第46号の2件です。議案第45号、議案第46号の2件、報告事項(1)の1件につきましては、津市教育委員会会議規則第16条第1項第1号、第2号及び第4号の規定に該当するため、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員 （異議なし。）

教育長 それでは、議案第45号、議案第46号の2件、報告事項(1)の1件につきましては、非公開と決定します。

議案第45号 令和6年度津市一般会計補正予算（第8号）＜教委所管分＞について

議案第45号 非公開で開催

議案第45号 原案可決

議案第46号 津市通学区域審議会委員の委嘱について

議案第46号 非公開で開催

議案第46号 原案可決

報告事項

(1) 第2回白山地域小学校の在り方検討委員会代表者会議の開催結果について

＜以下非公開＞

教育長 それでは、議事に入ります。議案第４５号「令和６年度津市一般会計補正予算（第８号）＜教委所管分＞について」、事務局から説明をお願いします。教育総務課長。

【非公開】

教育総務課長 説明

各委員 質疑

教育総務課長 説明

教育長 よろしいでしょうか。それでは議案第４５号について、原案どおり可決することに御異議ございませんか。

各委員 （異議なし。）

教育長 御異議なきようですので、議案第４５号については、原案どおり可決します。次に、議案第４６号「津市通学区域審議会委員の委嘱について」、事務局から説明をお願いします。学校教育部長。

【非公開】

学校教育部長 説明

各委員 質疑

学校教育部長 説明

教育長 よろしいでしょうか。それでは議案第４６号について、原案どおり可決することに御異議ございませんか。

各委員 （異議なし。）

教育長 御異議なきようですので、議案第４６号については、原案どおり可決します。次に、報告事項に入ります。報告事項（１）「第２回白山地域小学校の在り方検討委員会代表者会議の開催結果について」、事務局から説明をお願いします。学校教育部長。

【非公開】

学校教育部長 説明

各委員 質疑

学校教育部長 説明

教育長 よろしいですか。それでは報告事項については以上ということにします。以上で本日の案件は全て終了いたしました。その他、何かございましたら委員の皆様、よろしいでしょうか。

西口委員 新聞等で報道になりました津市内の不審者の件、それからファストフード店での塾帰りの子どもの殺傷事件等があり、やはり学校が行われているときではありませんが、これから冬休みに入っていきますので、子どもたちの安全面でもう一度注意喚起するとか、これを一つの教訓として子どもたちの安全を守ってほしいと思います。

教育長 難しいな。

学校教育部長 今回報道発表がありました、市内の土日のことでした。私は校長に聞いたところ、地域の方はスポーツ少年団とかがあり、いろいろ把握されているところはあるのですが、ただ危険なことをされてない状況があったり、子どもさんと一緒に来られていたりとかそのような中で、そのときに危険だということは感じることはなくて、後々たどっていったら、だんだん絞り込まれていったということも聞いているのですが、北九州の件もそうですが、子どもの安全を守るということは改めて難しいと思いましたが、ただ長期休業前には、改めてインターネットのことも含めて注意喚起をさせていただきますので、今回の件をということは難しいですが、改めて子どもたちに交通安全を含めて気をつけるように通知はさせていただいたところです。

教育長 西口委員が言っていたことを私なりに解釈すると、「学校は普段自由に入れるのですか」ということです。要は、大阪の池田であのようなことがあり、あのときはすごく門扉のことなどを言われました。当方もずっと言っていて、今でも門を閉めます。例えば、休みの日とかは一般の人たちが来ていますよね。それは禁止しているのですか。

学校教育部長 校長に聞いたのですが、禁止していません。普段は閉めていますけど、今回のように、休みの日にスポーツ少年団が活動していると、門扉は開いています。そうすると、近所の人や犬の散歩をしたり、子どもを連れて遊具で遊んでいたりと、そのようなことも日常的にあるそうです。

教育長　ですから、それをどうするのか問われたらどうしますか。3日ぐらい前の伊勢新聞でその件について掲載されていました。あれだけ門扉の件で騒がれていたのに今は自由に入れること自体の危機管理がどうのこうのと書いてありましたので、普段は確かに門扉を閉めています、でも入ろうと思ったら入れますし、もっと言うと、休みの日はどうなのですか。入ったら駄目だと言う人もいます。

学校教育部長　校長も普段は閉めています、土日はスポーツ少年団が使用していたと言っていました。

教育長　今聞いていて思いましたが、そのあたりのことを問われるかもしれません。マクドナルドなどで起こった事件については難しいところがありますが、学校で起こったことについては、今の体制を問われたときに、「私たちは普通に入ってきていますよ」と思っていますが、その発想がそもそも駄目ではないのかと思います。

学校教育部長　土日以外の平日は普通に入ってきていません。

教育長　例えば夏場の放課後に入ってきている人がいるのではないですか。散歩であったり中学生が入ってきたりしているのではないですか。

学校教育部長　門扉を閉めていても入ってきますよね。

教育長　そのあたりを改めて考えたほうがよいと思います。いろいろな考え方があります。私たちの時代では放課後に学校へ遊びに行っていたのがあたりまえです。それがそうではなくなってきた、皆の考え方とか価値観が変わってきて、皆がそれぞれ勝手な解釈をしているか分からないので、そのあたりは改めて考えたほうがいいのかも少し思いました。あの小学校で起こったことについては、結局は多分ですが、そのような人がいることは知っていたわけですが、そのときは何も思わなかったのではないですか。結果的にあのようなことが起こっているわけですので、やはり考え方とか、私も昔の考え方であれば、「学校には入ってくるよな」と思っていますが、実はそうではありません。

学校教育部長　道で遊んでいるより、学校のグラウンドのほうが安全ですの

で、子どもたちも来たりしています。

教育長 多くの人はそう思っているかもしれません。「普段は門扉を閉めている」と言っているものの、では徹底的に外部から遮断しているかというところ、そのようなことはないです。でも一方では伊勢新聞に書かれているみたいに、「いやいや、そうじゃないんか」と思っている人もいます。一度、生徒指導部と一緒に考えていただき、どこかでは学校で共有したほうがいいかもしれません。

学校教育部長 今回、私が思ったのは、たまたま学校でありましたが、学校ではなくても公園とかでも、今回、子どもたちのほうから声をかけているのです。楽しそうに遊んでいたから「一緒に遊ぼう」と言って声をかけているのです。ですから、たまたま学校でしたが、公園などのいろいろなところでそのような危険性はあると思います。自由に入れてしまうことも問題ではありますが、危険性はそこだけではないと思います。

教育長 嫌な世の中であると本当に思います。子どものほうから声をかけていたことが駄目なのかということになりますよね。挨拶もできません。

学校教育部長 挨拶もしてくれない。逆に登下校時に立っていても「挨拶してもらえない」「子どもに挨拶しても知らん顔された」ということもありますので難しいです。

西口委員 一時のことを思うと、やはり学校の施錠が緩んできていると思います。もう一度閉めるところは閉める、スポーツ少年団が使用しても必ずスポーツ少年団が責任をもって閉めて帰っていただくことが基本だと思います。

山口委員 施錠するとか開放とかは、どちらにもメリットとデメリットがあり、リスク管理の仕方があると思います。教育委員会としては、その整理をしておかないと、多分学校が域性の中で独自に決めてもいいのかということになりますよね。地域の中にある学校ですので、地域の人が自由に使いたいというのがあると思います。教育委員会としてはそのリスクをきちんと整理はしておかないといけないと思います。その上でどのようにするかを決めていただきたいと思います。

教育長 他よろしいですか。

田村委員 今の話で私は考え方が違うかもしれませんが、このようなことが起こると必ず報道とかマスコミが極論の報道をし、後から結果だけ見て「何やっと思ったんや。」と。これは簡単ですが、教育委員会として、または学校として今、地域との連携という課題を抱えて、地域の皆さんと一緒に学校を中心とした地域作りに取り組んで行こうというときに、子どもの安全のためとか、施設の管理者が変に責任取らされると困るからということで、施錠して「絶対入ってくるな」というバリアを作ってしまうことをすごく心配します。そうすると、地域の人たちの気持ちも離れていくのではないですか。そうしたら目指している方向によってはデメリットが非常にあり、先ほど教育長が言われた、たまたま学校のグラウンドであつたから言われていますが、公園であれば公園の管理者が責任問われるのか、公園を柵で全部囲い、大人がいないときに子どもが入ってきて遊べないようにするのかとは言わないですよ。乱暴な言い方ですが、わけの分からないことを言うてくる人は、ほっとけばよろしいと思います。しかし大事なのは、「子どもがお父さんと一緒に警察に行った」と報道で言っていますが、学校の先生にも言っているのです。

学校教育部長 あれは実は土曜日に事件が起こり、日曜日まで子どもは何も言えなくて、親に言おうと思っていたのですが、「親が忙しいから話を聞いてもらえない」ということで、土日に子どもだけで抱えていました。学校へ行き、先生に言ったことで初めて明らかになり、親御さんに言ったということですので、最初に聞いたのは担任です。

田村委員 私が思うことはそこなのです。「子どもがそういうときに、先生に言える」という関係になれるように、取り組んで行くべきではないでしょうか。あとは大人目線で何かおかしいことがあつたときに、見過ごすことのないように、空振りでもいいではありませんか。空振りで大いに結構というつもりで動いていく心構えというのが取り組めるのかと思います。コミュニケーションも大切であり、それは栗真小学校の先生方の手柄だと思います。

学校教育部長 先生も「よく言ってくれたね」ということで、親御さんに伝えて直ぐにお父さんが動いていただけたということになります。

田村委員 そこですよ。「担任にそのようなことを打ち明けられない雰囲気になかった」ということがすごく救いであると思っております。

教育長 はい、ありがとうございました。以上で令和6年第14回津市教育委員会を閉会します。

一同 ありがとうございました。